

6回目 スポーツの指導目的は何か？

スポーツ指導の目的とは？——私たちは何のために指導をしているのか

スポーツ指導者の皆さん、日々の現場でのご尽力、本当にありがとうございます。

今日は、「私たちがスポーツを通じて、何を育てているのか？」という根本的な問いについて、一緒に考えてみませんか？

私が思うスポーツ指導の目的——それは「人財育成」です

もちろん、競技力を高めることは、指導の大切な役割です。

選手が速く走れるようになる、技術が向上する、試合で勝つ——これらは大きな成果であり、達成感もあります。

でも、私が本当に大切にしたいのは、**スポーツを通じて「人」としての力を育てる事**です。

それが、スポーツ指導の本質ではないでしょうか。

スポーツを引退した後に残るもの

どんなに優れた選手も、いつか競技生活に区切りがきます。

その後、社会に出て、家庭を持ち、人生を歩んでいきます。

そのときに、どんな考え方で、どんな人間関係を築き、どんな行動をとれるか——

そこに活きてくるのが、スポーツ現場で育まれた「人間力」です。

- 逆境を乗り越えた経験
- 仲間と助け合った記憶
- 礼儀、責任感、あきらめない心
- 自分を見つめ、成長しようとする姿勢

こうした力こそが、「スポーツで身につけることができる、人生の武器」です。

そして、そんな力を備えた人が増えていけば…

- 社会から「この人材は素晴らしい」と評価される選手が生まれる
- スポーツ現場が「人を育てる場所」として信頼されるようになる
- その結果、指導者自身も社会から認められ、対価を得て、生業として成り立つ未来が広がっていくと思うのです

これは、単なる理想論ではありません。

本気で“人を育てる”スポーツ指導をする仲間が増えれば、確実に実現できる未来です。

自主性が良いのか？

主体性が良いのか？

問題

依存性

自主性

主体性

≈ 95%

≈ 4%

≈ 1%